

R8 魚津市のコミュニティ・スクール②

西部中学校

5/8(金)に西部中学校の第1回学校運営協議会が開催されました。会長には福留委員(市社会福祉協議会 会長)、副会長には野澤委員(西部中PTA会長)が選出されました。

【1】 学校運営の全体構造図 [グランドデザイン]



校長の鍋島委員からは、学校教育目標の達成に向けて、「善の巡環」を令和8年度の学校運営上のキーワードとして、一人一人のウェルビーイングの向上と広がりを図り、「安心感・充実感が得られる学校づくり」に取り組みきたいと説明がありました。

また、昨年度から取り組んでいる「地域学校協働活動(愛称…コスパ)」を推進して、学校目標である「自ら考え実践する生徒」の育成につなげたい、また、昨年の学校運営協議会で意見があった「チーム担任制のアップデート」に取り組みきたいと説明がありました。チーム担任制の評価や成果についての質疑の後、全会一致で学校運営方針が承認されました。

地域社会は「教育資源の宝庫」との認識で、「地域の力を生徒の地力に」「生徒の力を地域の活力に」を合い言葉に「地域学校協働活動」の推進に取り組んでいます。

活動例

- ・おおまち祭のお手伝い
 - ・魚津市障害者連合会体育大会ボランティア
 - ・魚津神社祭礼後の清掃
 - ・学童保育での遊び相手
 - など
- 学校運営協議会の委員の方のネットワークを生徒の活動機会に活かしてほしいと学校側から依頼がありました。

活動推進の工夫

- 生徒会主体でスローガン設定
- 職員室前の広報コーナーの設置
- エントリーシートと報告用紙の活用
- 各コミセンへの説明 など

委員からの主な意見

- ・家庭や地域が本来の役割を再認識し、子供の教育に向き合うことが大切である。
- ・チーム担任制により、一人の子供を複数の先生方で見ることはよい仕組みだと思う。
- ・教員が元気でないと子供も元気がならない。この学校運営方針を教職員に十分周知されたい。
- ・とても働きやすい職場環境だと感じる。
- ・部活動の地域展開は魚津市は進んでいる一方、指導者や保護者の負担が増大しているのではないかと。

など、学校運営に係る具体的な意見・提案がありました。